

田んぼダムの取り組みについて

1. 田んぼダムの整備状況と今年度の目標について

土地改良区名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
栃木市土地改良区				
吹上東部地区	5 ha	10 ha	10 ha	25 ha
栃木市西部地区		10 ha	10 ha	20 ha
都賀町土地改良区				
赤津北部地区	5 ha	5 ha	10 ha	20 ha
赤津南部地区		8 ha	10 ha	18 ha
小倉堰土地改良区			5 ha	5 ha
計	10 ha	33 ha	45 ha	88 ha

※田んぼダム整備事業等：令和4年度予算 10,000 千円（市単独）

【参考】 貯水量 R2～R3 43 ha(43,000 m³) プール 約 138 杯分
 R4 45 ha(45,000 m³) プール 約 144 杯分
 R2～R4 計 88 ha(88,000 m³) プール 約 282 杯分

※水田の深さは平均 10cm 深、プールは 25m×12.5m×1m=312.5 m³で換算

2. 今後の整備計画等について

○従来型田んぼダムについては、令和4年度以降毎年約 50 ha を整備予定

○流域治水として効果の高い市街地北部地域への田んぼダム整備を優先

- ・巴波川上流(荒川)地域 栃木市土地改良区、都賀町土地改良区、小倉堰土地改良区
- ・永野川流域 栃木市土地改良区

○市街地北部地域への整備から徐々に市内全域に拡大

- ・猿渕川北部地域、柚井木川流域、赤渕川下流地域などの整備を予定

3. スマート田んぼダム実証実験

○実証実験内容（6月～11月実施）

- ・スマート田んぼダム、従来型田んぼダム、対照ほ場の3箇所それぞれ次の調査を行った。
 - (1)洪水調整機能 ・排水路、詳細調査水田に水位計やカメラを取り付け、まとまった雨が降った時に1時間ごとの水位や流量を調査
 - (2)米の水管理労力 ・給排水栓の開閉の労力を自動と手動で調査
 - (3)米の収量 ・坪刈り調査（3つのエリアでの米の出来具合）

○実証実験（吹上東部地区の圃場エリア 15ha）※令和3年度と同様の実験

	対照ほ場(普通の田)	従来型田んぼダム	スマート田んぼダム
実証実験面積	約 5ha (5.0ha)	約 5ha (5.6ha)	約 5ha (4.4ha)
給水栓	手動給水栓	手動給水栓	自動給排水栓を設置
排水栓	柵を取付けずそのまま排水	手動排水調整柵を設置	〃
給排水栓の開閉	手動による操作	手動による操作	通信による遠隔操作

【問合せ】 産業振興部 農林整備課
 担当：田名網・安彦 Tel.0282-21-2279